

科目名 Course Name	介護職員初任者研修講座Ⅴ (こころとからだのしくみと生活支援技術) Care staff beginner's training lecture Ⅴ			ナンバリング No.	I3-012		
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護職員初任者研修ユニット必修)						
関連 DP	DP1, DP2						
授業の概要と到達目標	<p>「介護職員初任者研修講座Ⅴ」では、介護職員初任者研修課程における「こころとからだのしくみと生活支援技術」の整容、入浴、身体の清潔、睡眠について学習する。介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識をもとに、整容や入浴・身体の清潔保持、睡眠の意義、および安全な介護サービスの提供方法について学ぶ。また、利用者の自立および自律に向けた支援のための基本技術を習得する。さらに、高齢者や障害児者を対象とするレクリエーションの視点について、体験を通し学習する。</p> <p>①整容や入浴、身体の清潔保持、睡眠の意味について説明できるようにする。 ②入浴の際の環境整備のポイントおよび入浴に関連した用具を列挙できるようにする。 ③衣服着脱や入浴、清拭などの援助における方法および留意点について説明できるようにする。 ④睡眠の際の環境整備の要点や睡眠に関連した用具を列挙でき、安眠のための介護の工夫について説明できるようにする。 ⑤レクリエーションの意義が説明でき、高齢者、障害児者を対象とするレクリエーションの視点を列挙できるようにする。</p>						
授業の方法	演習が主となる授業である。衣服着脱や清潔保持の具体的な援助については、教員のデモンストレーションの後、グループで演習する。利用者役と介護者役の両方を体験し、そこから援助の留意点について考える授業とする。また、グループディスカッションを行い、援助の方法や留意点等について考える。レクリエーション技術についても、体験を通して学習する。						
学習成果	L01	整容や身体の清潔保持の意味をふまえ、利用者の状態に応じて、整容や入浴等に関する福祉用具を選択し、利用者の自立やプライバシーに配慮しながら、基本手順に沿った整容や衣服着脱および清潔保持の援助を行うことができる。					
	L02	睡眠の意義をふまえ、安眠のための介護の工夫や環境整備をすることができる。レクリエーションの意義をふまえ、高齢者や障害児者に対するレクリエーション技術を習得することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	実技演習後は振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。また、レポートは評価後、可能な限り学生に返却する。						
教科書/参考図書	①介護職員初任者研修テキスト 第2巻「自立に向けた介護の実際」中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点やルール等	●資格取得に向け目的意識を持ち、積極的・意欲的に取り組むこと。●演習時は身だしなみを整えること。●自己練習をし、技術の向上に努めること。●飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机の上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③課題の提出期限を守っている。④演習時は身だしなみを整え、積極的に取り組んでいる。	30			

レポート/作品	演習後の振り返りレポート(①衣服着脱介助、②清拭)を課す。S評価は、利用者役・介護者役を体験した感想のみでなく、学びと留意点が具体的に記述されていること。	20		
発表				
小テスト				
試験	整容や清潔保持の基礎知識、衣服着脱や清潔保持の介助方法、睡眠に関する基礎知識と安眠への援助について理解できている。		50	
その他				
合計		50	50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・演習時の注意など) 整容に関する基礎知識、福祉用具の活用【講義】
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。
2	授業内容	利用者の状態に応じた衣服着脱の工夫と介助① 座位での着脱介助【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P46・47、P54・55 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。
3	授業内容	利用者の状態に応じた衣服着脱の工夫と介助② ベッド上臥位での着脱介助【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P48～P50 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。
4	授業内容	利用者の状態に応じた衣服着脱の工夫と介助③ 福祉用具の活用【演習】 (レポート① 提出:第5回目)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理する。テキストの該当ページを読む。レポート①を作成する。
5	授業内容	入浴や清潔保持に関する基礎知識、福祉用具の活用【講義】
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。
6	授業内容	入浴介護の実際 家庭浴、リフト浴、特浴【演習】
	事前・事後学習	テキストや生活支援技術マニュアルの該当ページを読む。
7	授業内容	身体の清潔保持の方法と留意点【講義】
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。テキストの該当ページを読む。
8	授業内容	利用者の状態に応じた清潔保持の工夫と介助① 清拭【演習】 (レポート② 提出:第9回目)
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P74～P77 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。レポート②を作成する。
9	授業内容	利用者の状態に応じた清潔保持の工夫と介助② 部分浴【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P68～P73 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。
10	授業内容	利用者の状態に応じた清潔保持の工夫と介助③ 口腔ケア、ベッド上での洗髪【演習】
	事前・事後学習	テキストの該当ページや生活支援技術マニュアル P78～P83 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。
11	授業内容	睡眠に関する基礎知識【講義】
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。睡眠日誌をつけてみる。
12	授業内容	睡眠障害の種類と原因【グループワークと発表】
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。
13	授業内容	安眠への援助【グループワークと発表】
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理する。安眠の条件や援助を考え、自分の生活でも実践する。
14	授業内容	レクリエーションの意義と方法【講義】
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理しまとめる。
15	授業内容	レクリエーション活動の実際【演習】
	事前・事後学習	高齢者にとっての楽しみについて考える。